

第 36 回 公金の支出及び職員の懲戒規程等に関する調査特別委員会

開催日時	令和 8 年 3 月 5 日 (木) 午後 4 時 45 分
出席議員	委員長 古賀 世章 副委員長 白根 美穂 委員 實藤 量徳 委員 平山 賢治 委員 河野 政之
事務局職員	議会事務局長 山田 恭恵

(午後4時45分開会)

○古賀世章委員長 緊急ではございますけれども、ただいまから、公金の支出及び職員の懲戒規程等に関する調査特別委員会を開会いたします。

昨日に引き続き、急遽、ご参集いただきまして、まことにありがとうございます。最終報告書提出に向け、必要な要件の整理をしていたところ、さらに一点解明する必要がある件につきまして、本日、委員の皆様にご話し合いの上、決定していただきたいというふうに思います。そのようなことで、よろしくお願いをいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本委員会では、調査の一環として、先月、代表監査委員に対する証人尋問を実施いたしました。その証言の中で、調査事項に関する監査の実施経過、調査事項に関する監査委員としての認識や判断などについて説明がありましたが、調査内容に関する監査の経過や判断の形成過程について、議選監査委員の認識等についても確認する必要がある事項が示されたところであります。

本委員会としては、調査事項に関する監査の実施経過、調査事項に関する監査委員としての認識や判断につきましてより正確に把握するため、議選監査委員本人から直接証言を求める必要があるという委員からのご意見もあります。改めて皆様方からのご意見をお願いいたします。ご意見がある方は、挙手の上、お願いをいたします。

よろしいですか。特になければ。はい、どうぞ。實藤委員。

○實藤量徳委員 議員を呼ぶというのは、それはやめようという話になっていたと思うんですが。

○古賀世章委員長 いかがですか。はい、どうぞ。河野委員。

○河野政之委員 私も、要するに、監査そのものの不備、体制というかそれがきちんと整っていない、専門として担当を決めるということで予算化してあるんですけど、今まではそういう人がいない。この前から村山さんとか、監査委員とお話ししたところ、そこまではする必要がないと、抜き打ちでやっているだけだからということでは言われていました。

今、呼び出してお聞きするというのも結構厳しいんじゃないかなと私は思いますけど。呼び出す必要はないと私は思います。

○古賀世章委員長 皆様方のご意見を踏まえまして、本日の協議につきましては、少し時間をかけていきたいと。結論を出すのは、次回以降にしたいというふうに考えますが、皆さんいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○古賀世章委員長 よろしいですか。異議なしということで、再度、本件につきましては次回、協議をしたいというふうに考えます。

本件は、以上でございます。

次回の会合でございますが、次回は3月9日月曜日ですか。予算委員会終了後に行いたいと思いますので、皆さん、予定をしておいてください。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○古賀世章委員長 それでは、以上で本日の委員会を閉じます。閉会いたします。ありがとうございました。

(午後4時53分閉会)